

芯まで丸かじり！ ファンティパイナッフル今昔物語

所属	小牧市立米野小学校	実践者	青山 英孝
対象	小学5年生	時間数	7時間
場所	教室	実践教科	総合的な学習の時間
ねらい	ファンティパイナッフルの栽培を通して、村の貧困改善に奮闘した青年海外協力隊員の活動を知り、グローバル化時代を意識した生き方や持続可能な国際協力の在り方について考える。		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	◆ガーナ共和国の人々の暮らしや社会の様子に気付く ・知っていることやイメージを交流したあと、教師海外研修で撮った写真を見て、気付いたことを共有する。	地図帳、地球儀 パワーポイント
	2	◆ガーナ共和国で行われている農業の様子について知る ・主な農産物と、ファンティパイナッフルの特徴を知る。	フォトランゲージ 動画と写真
	3	◆アチュワ村で奮闘した青年海外協力隊員の取り組みを知る ・「アフリカで今も語り継がれる日本人」を視聴し、武辺寛則さんが貧しい村を救済しようと挑戦した活動について意見を交流する。	TV「奇跡体験アンビ リバー」より 付箋
	4	◆武辺さんの「意志あるところ、道は通じる」について考える ・手記や手紙から、活動に込めた武辺さんの思いを話し合うとともに、発展途上国に対する支援の在り方について考える。	書籍「ガーナに賭けた 青春」女子パウロ会 ブレンストーミング
	5	◆2014年から赴任している青年海外協力隊員の活動を知る ・坂田実緒子さんが取り組むコミュニティ開発について話し合う。	インタビュー動画 写真
	6	◆坂田さんの思いや夢について考える ・ブログを読み、やりがいや苦労について知り、コミュニティ開発で大切な支援の在り方についてグループで意見を交流する。	坂田さんのブログ 派生図
	7	◆武辺さんと坂田さんの生き方について話し合う ・過去と現在の青年海外協力隊の活躍を軸に、国際協力のあるべき姿について考え、坂田さんの生き様を俳句にして詠む。	グループワーク 画用紙
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な素材を教材化し、ストーリー性のあるプログラムを構成したり、参加型アクティビティを導入したりすることによって、「考え、学び合う授業」に変容し、自分の視野や考えを深めることができた。 ・ガーナ共和国の現状について実感を伴った学習が展開したことで、固定観念から脱却しアフリカを肯定的にとらえることができ、ガーナ共和国に対して親近感を持つ児童が増えた。 ・海外で活躍する日本人の生き方に触れたり、発展途上国の課題に目を向けたりしたことで、夢や目標を持つことの大切さに気付くことができたうえ、普段の生活や自分自身を見つめ直すきっかけにもなった。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近ではない事象を、より実感を伴った学習にするための取材資料の効果的な提示方法。 ・農産物に限定せず、青年海外協力隊の諸活動を多面的・多角的に実感できるプログラムの再構成。 ・学んだことを活かして、自分達にできる国際貢献という具体的な行動化にまで迫ることができなかった。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・学級によって反応や意見が異なり、ワークショップ型の広がり面白さと、まとめ方の難しさを感じた。 ・5年生の実践に加えて、他の学年においても学年の発達段階に合わせて実践を試行した。 		

[授業実践の詳細]

1 時限目「ガーナ共和国の人々の暮らしや社会の様子に気付く」

1 子どもの活動の流れ

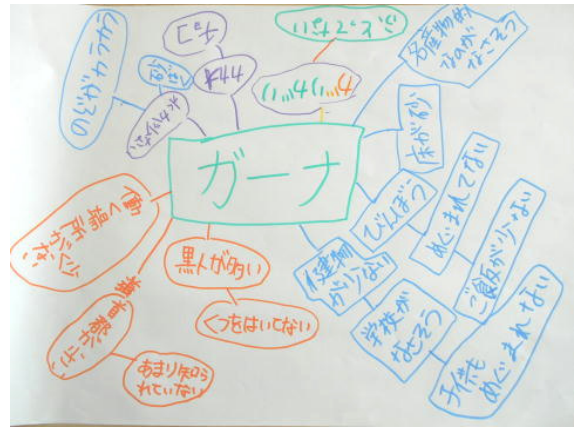
- ① アイスブレーキング
アフリカと聞いて連想することをポップコーン方式で挙げる。
- ② 地図帳や地球儀でガーナ共和国の位置や概要を知る。
- ③ グループで協力して、5分間でガーナ共和国について知っていることやイメージすることを、A3用紙に書き出す。
- ④ 現地で撮影した写真をパワーポイントで視聴し、ガーナ共和国の様子や人々の暮らしについて知る。

この時限のねらい

- ・アフリカ州やガーナ共和国について知っていることやイメージすることを交流する。
- ・教師海外研修で撮った写真を見て、ガーナ共和国に興味・関心を持ち、気付いたことを共有する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ チョコレートの商品名にもなっているように、児童の誰もが名前だけなら聞いたことがあったが、アフリカ大陸のどの位置にある国なのかを知らない子が多かった。
- ◇ 頭に荷物をのせて歩く姿に驚きの声があがった。
- ◇ 貧困や未開発、不衛生、食料不足などのマイナスイメージを連想する子どもが多かったが、現地の様子をプレゼンで紹介していくと、陽気さ・活気さ・情報化などを感じ取り、異文化を肯定的に捉える子どもが増えた。



<ガーナ共和国のイメージ図の成果物>

3 使用した教材

- <教材1> 地図帳と地球儀
- <教材2> 現地で購入した国旗
- <教材3> 教師海外研修で撮影した写真を使ったパワーポイント

2 時限目「ガーナ共和国で行われている農業の様子について知る」

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレーキング
現地で撮影した農作物の写真を見て、栽培されている作物の名前や、その特徴を知る。
- ② 統計資料から、ガーナ共和国の農業の特色に気付く。
- ③ 数種類のパイナップルの写真の中から、アチュワ村近辺で栽培されているファンティパイナップルを予想する。
- ④ パイナップルを試食している写真や動画を参考にして、ファンティパイナップルの特徴について知る。

この時限のねらい

- ・ガーナ共和国で栽培されている主な農作物に関心を持つ。
- ・世界的に有名なカカオの栽培以外に、ガーナ共和国の土地と気候に適したファンティパイナップルが作られていることを知る。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 予想していたよりも多くの農産物を挙げる事ができたが、カカオが木のいたる所に実ることに驚いていた。
- ◇ パイナップルにはたくさんの品種があり、中でも小ぶりのファンティパイナップルは暑さや乾燥に強く、甘みがあることを知り、この品種に興味を示した。



<地図帳で農業について調べる>

3 使用した教材

- <教材1> ガーナの主な農産物(タロイモ・キャッサバ・プランテン・カカオ)の写真
- <教材2> 教師海外研修で撮影したファンティパイナップルを試食している動画
- <教材3> 教師海外研修で撮影したファンティパイナップルの生育過程の写真と動画

3 時限目「アチュワ村で奮闘した青年海外協力隊員の取り組みを知る」

1 子どもの活動の流れ

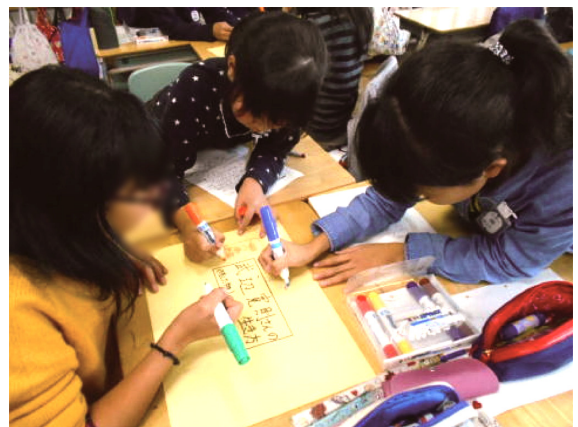
- ① 首長姿をした武辺寛則さんの写真を見て、連想されることをポップコーン方式で挙げる。
- ② TV番組を視聴し、武辺寛則さんが、派遣されたアチュワ村で取り組んだ様々な活動について知る。
- ③ グループで武辺さんの生き方をイメージ図に表したあとに、他のグループに回し、互いに交流し合う。

この時限のねらい

- ・TV番組を視聴し、武辺さんがどんな活動をしたのか、イメージを膨らませ、関心を持つ。
- ・武辺さんが貧しい村を救済しようと様々な活動に挑戦したことについて、意見を交流する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 武辺さんがガーナに派遣された青年海外協力隊員であることを知る子どもは多くはなく、アチュワ村を開発する普及員として活動していたことを初めて知った。
- ◇ 自給自足で暮らしていたアチュワ村を豊かにしようと、武辺さんが現金収入の増大を見込めるプロジェクトを次々と行った実行力に、子ども達は感心していた。
- ◇ ファンティパイナップルはすぐに収穫することができないため、村全体の協力が得られない危機的な状況に陥っても、武辺さんが率先して活動する姿に、海外で活躍する日本人の責任感の強さに共感していた。
- ◇ TV番組を視聴させたことで、武辺さんのアチュワ村での具体的な活動の様子や、直面した課題などを子ども達に分かりやすく伝えることができた。
- ◇ 他のグループのイメージ図を見たことで、武辺さんの生き方に対する多様な考えに触れることができた。



<イメージ図づくりに取り組む様子>

5 時限目「2014年から赴任している青年海外協力隊員の活動を知る」

1 子どもの活動の流れ

- ① エサァーチレ村で働く青年海外協力隊員の活動の様子が分かる写真や動画を視聴する。
- ② グループごとに、感じたことを派生図に表す。
- ③ まとめた用紙を回覧し、同じ意見やなるほどと思った考えに印を付ける。
- ④ 坂田さんへのインタビュービデオを視聴し、コミュニティ開発の実際の様子について知る。
- ⑤ 本時の感想を書く。

この時限のねらい

- ・エサァーチレ村で栽培されているファンティパイナップルの様子を視聴する。
- ・坂田実緒子さんが取り組んでいるコミュニティ開発の実態を知る。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ フォトランゲージを通して、坂田さんが、栽培したファンティパイナップルを、ジュースやクッキー、ドライフルーツなどに加工して、村人といっしょに商品化に向けて取り組んでいることを知った。
- ◇ インタビューを通して、村人を巻き込んだ活動を行うことの難しさを知り、青年海外協力隊員の苦労を実感することができた。



パイナップルをもって売るために…。

<教材2> パワーポイントの一部

3 使用した教材

- <教材1> 青年海外協力隊員の坂田実緒子さんへのインタビュー動画
- <教材2> 坂田さんの取り組みの様子を伝えるパワーポイント

6 時限目「坂田さんの思いや夢について考える」

1 子どもの活動の流れ

- ① グループに4種類のブログを資料として配布し、坂田さんの取り組みの成果や苦労、改善点などについて意見を交換する。
- ② 坂田さんが、どのような思いで青年海外協力隊の一員として働いているのかを知り、グローバル化が進む現代において私たちのあるべき姿について話し合う。
- ③ 本時の感想を書く。

この時限のねらい

- ・ブログを読み、青年海外協力隊員としてのやりがいや苦労について知る。
- ・コミュニティ開発で大切にしたい支援の在り方について、グループで意見を交流する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ リアルタイムに坂田さんの気持ちや取り組みの様子を知ることができた。
- ◇ 村の農業祭でファンティパイナップルの加工品を販売し商品化に努めたり、イベントを企画したりしている活動に感銘した。

Mioko Sakataさんが新しい写真2枚を追加しました
2015年6月3日 アクラ

【コミュニティ開発の活動について -My activity report in Ghana-】
こうして自分の活動のことをちゃんと書くのは初めてがもれませ
ん
6月に入りました。ガーナ生活12ヶ月目に突入です。
ようやく自分の活動が見えてきたような気がします。... もっと見る



Mioko Sakataさんが新しい写真4枚を追加しました
2015年12月7日 21:49 アクラ

【活動のことか〜完結のパイナップルをつかって...〜】
12月8日、ガーナではファーマーズデーという祝日があります。
これは、日ごろ一生懸命に活動している農家さんを表彰するセレモニーを行い、感謝をするという日で、手塩にかけて育てた農作物を展示する、展示会がありました。... もっと見る



<配布資料として活用した坂田さんのブログの一部>

3 使用した教材

- <教材1> 坂田さんのブログ「ガーナに来て失ったものと得たものについて」 2015.12.12作成
- <教材2> 坂田さんのブログ「2015年の締めくりに考えること」 2015.12.31作成
- <教材3> 坂田さんのブログ「2016年の初めのご挨拶」 2016.1.2作成
- <教材4> 坂田さんのブログ「ガーナと日本で28歳にやりたい、28のリスト」 2016.1.7作成

7 時限目「武辺さんと坂田さんの生き方について話し合う」

1 子どもの活動の流れ

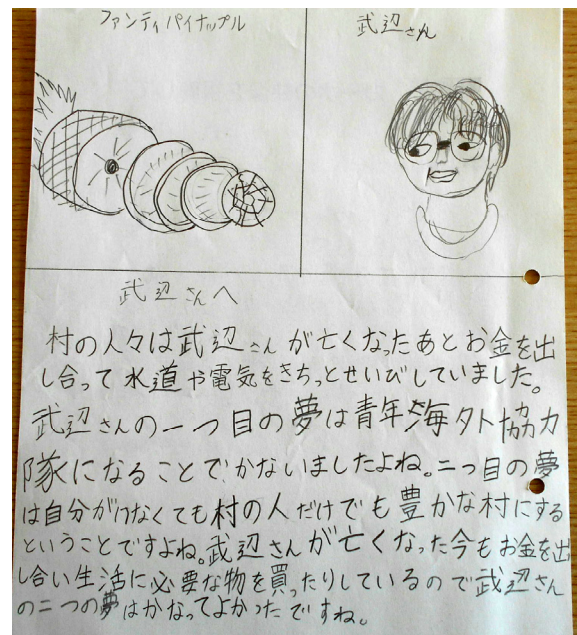
- ① 表題について、3～4人のグループを作り、ブレインストーミングを行う。
- ② グループごとに出た意見を、全体に発表する。
- ③ 坂田さんの生き様を俳句にして詠む。
- ④ 武辺さんの偉業について感謝の手紙を書く。
- ⑤ ギャラリー方式で、お互いの作品を相互交流する。

この時限のねらい

- ・過去と現在の青年海外協力隊の活躍を軸に、国際協力のあるべき姿について考える。
- ・青年海外協力隊員の生き様を俳句や手紙に表現する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 武辺さんと坂田さんの活動の原点とも言える、貧しい国で生きる人々を救いたいという思いを実現するために、地域に単身で飛び込み試行錯誤をしながら精力的に活動する2人の姿を学んだことで、子ども達は夢や目標を持つことの大切さに気付くことができた。
- ◇ 西アフリカの「優等生」として発展を続けるガーナにおいて、物資や資金を与えるだけの支援ではなく、国や地域の人々が自ら動き出すことができるように手助けすることの大切さを学ぶことができた。
- ◇ 海外で活躍する青年海外協力隊の生き方に触れたり、発展途上国の課題を知ったりして、普段の生活や自分自身を見つめ直すきっかけになった。



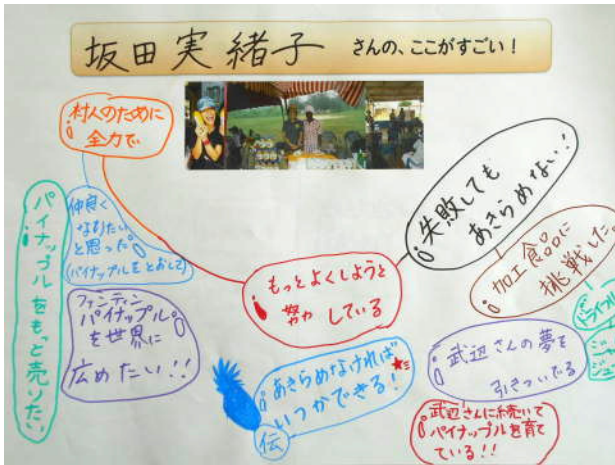
<俳句や手紙の成果物>

3 使用した教材

- <教材1> 武辺さんと坂田さんの顔写真

■ 全体を通して

1 授業の様子



<第5時で作成した派生図の成果物>



<第7時で詠んだ俳句の成果物>

2 参考文献・資料

- 1) 「女子パウロ会『ガーナに賭けた青春』」 1991年 女子パウロ会
- 2) 「高根務・山田肖子『ガーナを知るための47章』」 2011年 明石書店
- 3) 5年生以外の学年で試行した実践内容の概略(下表を参照)

対象	主な活動内容	時数
1年	音楽「いろいろなおとをたのしもう」の単元と関連付け、ガーナの民族楽器に触れて楽しむ。	3
2年	ガーナの様子を知り、図画工作「わくわくすごろく」の単元と関連付け、すごろくを作って遊ぶ。	4
3年	総合的な学習の時間に日本の伝統的な遊びと一緒に、ガーナの遊びに挑戦し、体験する。	4
4年	民芸品に触れたり、チョコレートを製造する過程やフェアトレードについて知ったりする。	4
6年	社会「世界の未来と日本の役割」の単元で、青年海外協力隊等の国際協力について学ぶ。	6
特支	クイズを通しガーナの人々の暮らしを知り、「世界がひとつになるまで(手話編)」を体験する。	1
教員	ガーナの概要を知り、発展途上国を扱った教材開発と参加型アクティビティの体験を行った。	1



<3年「ガーナの遊び体験」>



<4年「カカオのちょこっと旅」>



<教員「参加型アクティビティの体験」>